

$\times 20$

くまで、炎天下の砂はくを一日歩いて家族
ために水をくみに行きます。それでも手には
いるのは一人あたりわずか五リットル未満の
茶色くにごった水だけです。水くみは、子ど
もたちの仕事であるため、学校に行く時間
体力も残されていません。しかも毎日八百
人もの子どもがよごれた水や不えい生なか
ま^ようが原因で命を落と^してしま^っているそ
うです。キレイな水があれば、命も助かるし、
学校に行く時間もできます。水くみを仕事と
して学校に行けない人々もいる。たとえ水を
くんできてもその水はけ^っして飲めるもので
はない。このようなかくな生活をしている
人がいるというのを知^って、私はおたんの
生活を見直そうと思いました。水を出し
ばなしにしていないが^い。お皿やお鍋の油
はふきと^ったに^か。そんなところにも気をく^ば
ていきたいです。では、私の住む洪川市で
はどのくらい水をつか^っているのでし^ようか。
洪川市の令和四年度の一日でつかわれ^てい

た水の量は約三万四千キロメートルです。一
 日約九百リットルの水をつかって、いるそう
 です。しかも、その多くが家庭でつかわれて
 いたものなのです。ちなみに私の家では、一
 日約九百リットルの水をつかって、いるそう
 です。ということは、私の家は五人家族なの
 九百リットルをすると、百八十リットルにな
 ります。エキオピアでの一人あたり五リッ
 満という水の量が、いかに少ない、というこ
 が分かります。五リットルという少ない水で
 の生活。このような生活をし、苦しむ人が早
 くいなくなれると感じました。また、家庭で
 つかう水の量をへらし、渋川市全体のせ、水
 につながれば、いいなと思いました。
 では、このきちょうな水はどこからどのよ
 うにきているのでしょうか。まず、水は利根
 川から取水口を通り、浄水場を通じて、配水場
 から私たちの家にきます。浄水場には、大ま
 なプールのような池がいくつもあります。そ
 の池で水の中のごみをしずめたり、さぐりにこ

したりしてキレイな水にしています。そして
 消くをして、安あん心しんして飲のめる水みづにしていま
 す。浄水場ではたらく人たちは、私たちのた
 めに二十四時間、交代で仕事をしています。
 水が飲めるようになるのは、とても大変なん
 だ。なと、あらためて思いました。
 これからは、じや口をひねるたび感かしを
 したいです。これがどの国でもあたりまえに
 なるといいなと願ねがっています。早く世界中にキ
 レイでおいしい水がときますように。